

令和6年度 第1回燕市子どもの貧困対策検討会議

会議録（要旨）

日時：令和6年5月20日（月） 午後1:15～午後2:45

場所：燕市役所3階301会議室

出席委員：小池委員（会長）、江澤委員、佐々木委員、武井委員、井口委員、  
飯野委員（副会長）、今井委員、岩田委員、田村委員

欠席委員：細川委員、芦田委員

事務局：白井こども政策部長

（子育て応援課）鈴木課長、小川課長補佐、濱田係長、滝沢主任

燕市子どもの貧困対策庁内推進会議委員

（学校教育課）関根統括指導主事、服部副参事

（社会教育課）酒井副参事 （社会福祉課）渡邊係長

（保険年金課）小杉係長 （商工振興課）遠藤係長

（こども未来課）荒木係長

（子育て応援課）番場副主幹、笠原福祉支援専門員

欠席委員：吉川保健指導専門員

報道機関：なし（非公開）

傍聴者：なし（非公開）

1. 開会

2. こども政策部長 あいさつ

<こども政策部長よりあいさつ>

3. 報告事項

（1）燕市こども計画の策定と「子ども・子育て会議」への統合について

<事務局より資料の説明>

<質疑なし>

## (2) 市内子ども食堂の現状について

<事務局より資料の説明>

<質疑なし>

(会長)

せっかくですので委員から、現状について一言お聞かせください。

(委員)

白山町みんなの食堂は平成30年4月から開催しています。料金は、幼児50円、小学生100円、中学生200円です。コロナの影響でお弁当に変わりました。現在は会食も再開し、会食かお弁当を希望に応じて提供しています。これまでは、白山町児童館で食堂をしていたので子どもに声をかけやすい、困っている子どもを見つけやすかったが、児童館は閉鎖し、今は自治会の理解もあり地域の集会所で行っています。平均60~70のお弁当を作っています。1年間で約594個、延べ人数は、幼児が30人ぐらい、小学生が89人、大人が398人、スタッフが140人利用しました。また、学校の長期休み中は、B&G 燕吉田南メートで子どもたちと一緒にごはんを作って食べています。

子ども食堂をやりたいと思ったきっかけは、貧困家庭の子どもは見えにくいし、声をあげにくいと思います。そのような状況の中、どなたでも利用できる子ども食堂の活動が、いずれ困っている方の助けになると思って運営しています。

燕市の支援があり助かります。安心材料になります。また、市内企業からもご寄附いただき、活動が応援されていると感じています。

(会長)

行政からのサポートが安心材料になっているという言葉から、燕市の取り組みが地域の中で子ども食堂が根付いていく、子どもの居場所や地域作りに貢献していることが、確認できました。

(委員)

子ども食堂の取り組みについて素晴らしいと思います。しかし学校現場でよくわからないところがあります。申し込み方法を教えてください。経済的に困っている子どもを表面上では把握できません。学校だと表面上はわからなくても、ひとり親や、経済的に困っているようであれば、声かけや様子を見守って

います。子ども食堂に行けば、食事ができるよと、子どもたちに直接知らせることができます。しかし、数が限られていると思うので子ども食堂に行けば食事が必ずあるわけでもないと思います。何か手続きなどの方法があるか教えていただきたいです。

(委員)

白山町みんなの食堂は、燕市役所学校教育課、こども未来課、子育て応援課、社会福祉課（生活保護の窓口）にチラシを置いてどなたでも利用できますと案内しています。コロナ前は子どもが100円玉一つ握ってくれば、食べられるようにしていました。子ども達は、「今日友達連れてきた。」ということがありますので絶対に断らないという姿勢でやってきました。しかし、コロナの影響でお弁当に代わってしまい、今は予約制となっています。小中川小学校でしたら学区内に、重蓮寺さんのおたがいさま食堂が一番近いです。どなたでもどうぞという形ではなく、ひとり親家庭などを対象としています。すべての学区内に子ども食堂があるといいなと思っています。近くにあって、気軽に安心して親が子どもに100円持たせて子ども食堂にいけると一番理想かなと思います。

(会長)

白山町みんなの食堂の申込み方法など、ご説明ありがとうございました。このような情報を共有し、情報を必要としている人に繋がることを期待しています。

#### 4. 協議題

##### (1) 燕市子どもの貧困対策に係る施策の取組状況について

<事務局より資料の説明>

<質疑>

(委員)

地域おこし協力隊配置事業ですが、子どもの居場所づくりの業務を担うとありますが、子ども食堂で食事した後に、子ども達と遊んでもらう依頼を地域おこし協力隊にできますか？

(事務局)

地域おこし協力隊配置事業は社会福祉課が担当となります。現在、地域おこし協力隊の募集が始まり、まだ応募がない状況です。今年度は、モデル事業とし

て実施する予定です。その後、活動内容の拡充も検討いたします。今回のような要望がありましたら社会福祉課へご要望ください。

(委員)

今募集されているという状況で、応募があって配置することになると、フードバンクつばめに配置となりますか？

(事務局)

応募がありましたら、審査を行って採用となり、フードバンクつばめに配置になると思います。

(委員)

地域おこし協力隊の方が来られて、食の部分も大切ですし、遊びの部分でもサポートしてもらえるといいですね。

(委員)

子育て世帯訪問支援事業については、非常に良い取組だと思います。この事業の進捗状況を教えてください。

(事務局)

今年度から事業が始められるよう準備していますが、なかなかの受託業者を探すことに苦慮しております。今のところ6月に委託できるよう準備を進めております。

(委員)

子どもが行っている家事を支援する事業に取り組むことで、子どもたちが育つ家庭内の環境を整えていくことがいいと思います。家庭内の食事の準備や、衛生的な環境を整えるなど、保護者が中心になってやるべきところを支援する事業があれば、ヤングケアラーの問題を少しでも解消できる方法になると思います。

(委員)

子育て世帯訪問支援事業について、どのようにニーズを拾い上げますか？

また、地域おこし協力隊に関して、導入済みの自治体でトラブルがあると聞いています。どのような人選を考えていますか？

(事務局)

子育て世帯訪問支援事業の対象者をどのように拾い上げるかは、要保護児童や、特定妊婦、学校が行うヤングケアラーのアンケートから拾い上げていこうと考えています。

地域おこし協力隊の人選について、協力隊員募集時に、継続して活動していただけるかどうか意思確認を行う予定です。また、採用した協力隊員を燕市社会福祉課からフォローしていきたいと考えています。

(委員)

子育て世帯訪問支援事業の予算はどのくらいですか？中学校でアンケートをすると家事支援が必要な家庭が出てくると思います。何人分、何回分の予算がついているか教えてください。

(事務局)

予算は対象者5名で、週2回2時間の予算を積算しています。初年度の実績を基に、次年度以降も積算する予定です。

今年度は国の事業を活用し新規事業を策定いたしました。予算規模は約500万円です。また、昨年度この事業を実施した自治体の話では、なかなか対象者が上がってこないという状況です。ただし、5名以上対象者が上がってくるようであれば、予算を補正して対応いたします。中学校等へのPRを是非よろしくお願いいたします。

(委員)

すごく大事な事業だと思います。また、大変な事業だと思いますが、燕市がモデル事業となって前向きに取り組んでいただければありがたいと思います。

## (2) 心配ごと等に関するアンケートについて

<事務局より資料の説明>

<質疑>

(委員)

アンケートの回収率はどのくらいですか？また、提出しないと手当がもらえませんか？

(事務局)

令和5年度の回収率は39.3%、令和4年度は40.0%です。令和5年度の内訳は、児童扶養手当申請者が45.0%、就学援助認定者が27.9%です。また、アンケートを未提出だと、手当がもらえないということはありません。

(委員)

アンケートを回収してから、行政はどのように次へつないでいくのですか？

(事務局)

回答していただいたアンケートは、項目ごとに集計を行います。その中でも特に注意している箇所が、自由記入欄です。この欄に困っている方の思いが記載されている場合は、担当課と情報共有しまして、対応を検討してまいります。

(会長)

燕市のアンケートは、経済的な状況が厳しい方達を、国の施策や市の施策につなげられないかという内容になっています。また、アンケートをきっかけに弁護士相談を受けられたり、燕市の担当課と相談できたりする仕組みは、あまり例がなく、とても良い取り組みだと思います。引き続きアンケート実施をよろしくお願いします。

(委員)

子どもの貧困の格差が特に現れる場面は、習い事をしているかどうか？だと思います。学校の場合は、その場面で明らかに差が出ています。

子ども食堂が近くにあれば、家や学校以外の居場所になりとても良いと思います。

## 5. その他

<事務局より事務連絡>

## 6. 閉会